

半藤学長 式辞

コロナ感染症による不自由な生活や初めての大学入学共通テストへの対応など、さまざまな試練を乗り越えてこの場に集う総勢 526 名の新生を心より祝福いたします。感染対策とは言え、この場への参加をご遠慮いただいたご家族および関係者の皆様にはお詫びするとともに、きょうの日のお喜びはさぞかしとお祝いを申し上げます。蒲島郁夫 熊本県知事には大変にお忙しいなか、熊本県立大学の新生のためにご臨席賜りましたことを心より御礼申し上げます。

1年あまり続くコロナ感染症の収束は見えていません。ワクチンの接種は始まりましたが、当分は社会としても大学としても、感染対策を意識した運営が続くと予想します。粘り強く取り組んでいきましょう。大震災や豪雨水害などの自然災害に打ちのめされても、悲しくて心が折れそうな経験をして、何度も立ち上がり復活してきた人々の精神力、すなわち人類の復元力に敬意を払いつつ、みなさんにも難局を乗り越えていく精神力の発揮と維持をお願いする次第です。困難なときにこそ協力して柔軟に対処することが大切であり、とくに感染症の対応は人々一人ひとりが予防と拡散防止に努めることが肝要です。誰かのせいにしてはなりません。人は思う通りにならなかつたり物事が順調に運ばなかつたりすると、不機嫌になり大騒ぎをします。世の中のパニックは大抵、人々の不満が根源です。しかし、人の真価が問われるのは困難な物事に向き合うときであるとも言われます。みなさんには我が意にそぐわなくても誰かのせいにするのではなく、感情をぶつけるのでもなく、自分には何ができるか、また、自分のできることをしよう、と自分本位に行動してほしいと願います。アメリカのジョン・F・ケネディが大統領受諾演説で述べたように、そして、数々の大震災や豪雨水害のあとで多くの人々が実感したように、自分には何ができるかと考える精神を忘れずに大切にしてください。

この県立劇場の地は熊本県立大学の前身である県立熊本女子大学のあった懐かしい聖地です。時は移り、並みに変化しても、人の世には歴史が存在します。世に賢い者、すなわち賢者は歴史に学ぶと言います。新生のみなさんには歴史を大切にする精神をも忘れず、何事も歴史に学び、自分たちのよき未来を作り上げる気持ちを持ってほしいと思います。私が思うに、IT 革命が進む今日の社会は明治時代と似ています。明治維新では富国強兵に向けて西洋化と近代化を推し進めました。うまく順応した者は勝ち組となり、順応できなかった者は滅びました。これからの IT 社会も、うまく対応できた者が成功者となって富を手にする一方、できなかった者は利益を得られず、おそらく取り残されて浮かばれないでしょう。明治時代と現代は社会構造が似ています。そんな今、歴史から学ぶことは何でしょうか。勝ち組と負け組が明暗を分けた明治時代、夏目漱石は人格の陶冶、つまり人間性を磨き続けるよう説いています。善を敬い悪を憎むという勧善懲悪の思想を軽んずる風潮の結果でしょうか、現代人は悪いことへの免疫ができてしまったように思いますが、人格を磨くと行動が理性的、行動的かつ抑制的になり、悪いことが恥ずかしくなります。藤原正彦『国家の品格』

というベストセラーを読んだ人はいますか。この本で留意すべきは、そもそも国家に品格はなく、品格ある人々によって国家の品格が生まれるということです。感染症を市民の力では抑えきれず、世界各地で紛争があるなど、民主主義がゆらいでいるように見える現代には社会全体、世界全体として、人格の陶冶 **building character** という看板を高らかに掲げる必要があるのではないのでしょうか。熊本水俣出身の作家・徳富蘆花もまた「謀叛論」という演説のなかで、若者たちに人格を陶冶するように呼びかけています。さあ、みなさん、人格を磨きましょう。優れた人々や書物と出会い、話し過ごし、また、読み、そこから学び、理想的な自分を思い描き、日々ひとつひとつの課題をこなしながら、充実した人生となるよう心がけましょう。さらには自分というゆるぎない基盤のもと、自分以外の他者についても心配りができる眼差しを持ちましょう。誰もが幸福な社会の実現は、人格が陶冶された人々が集う、その先にあると私は考えています。

近年、日本の若年層の読解力が衰えているのではないかと危惧されており、教育の世界では読解力の獲得が重要な課題となっています。みなさんは自らの読解力に自信がありますか。読解力は文章を正しく読むということではありません。深みのある文章や味わいのある文章に横たわる企みを把握することです。つまり、読解できるかどうかは想像力にかかっています。読解の想像力は勝手に妄想することを意味しておらず、与えられたものをいかに重層的に解釈できるかという洞察力に他なりません。論理的に読む能力さえも想像力に支えられています。想像力がないと文学作品は楽しめませんが、文章を過不足なく理解することも難しくなります。想像力は人類にこそ与えられたありがたい能力です。想像力があれば今の世にある諸課題への気づきも解決策も得られます。私は人類の課題として想像力の育成を重視しなくてはならないと考えています。想像力は鍛えることで伸びる。学問研究のある大学には洞察力を鍛える機会や場面がふんだんにあります。読解力につながる想像力を、みなさんが学ぶ熊本県立大学で、地道に、真摯に、追求してください。

熊本県立大学には学部学科、大学院研究科のほかに、みなさんの英語力や国際感覚を育むための国際教育交流センターや地域への理解と貢献をめざす地域連携政策センター、ほかにも基礎的、実用的な教育の充実をはかる共通教育センターや学術情報メディアセンター、キャリアセンター、保健センターなどがあり、みなさんの学生生活を支援する組織と機能が備わっています。もはや語学を始めとする異文化理解はグローバル社会に不可欠です。いわゆる **Society5.0** の時代は人類の持続的可能性を追求する **SDGs** の社会でもあり、ICTやAIを活用してイノベーションを成し遂げていく革命的変化の時代です。ぼーっとしていても何とかなる時代ではありません。変化の時代には決まりきったことを当たり前とする安心の社会とは異なる不安や不安定がつきまといきます。けれども、将来の不安を乗り越えてゆく勇氣と意志を持ち、人格を磨くとともに読解力につながる想像力を身につけ、やがて自信を持って社会へと羽ばたいていくためにも、私どもの熊本県立大学で大いに勉学に努め、研鑽を積んでください。

最後に、みなさんがよき友、よき師、よき人々と出会い、希望にあふれ、心豊かで充実し

た学生生活を過ごせるよう祈念し、熊本県立大学がみなさんの未来を育む輝かしい学びの場であることをお伝えし、本日の式辞といたします。

令和3年4月7日
熊本県立大学 学長 半藤英明